



## 取扱説明書

## 安全のために

ご使用の前に、この「安全のために」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ご注意：取扱説明書では、付属品として「安全のために」「安全点検のおすすめ」を、各1部と記載していますが、本書では、同じ紙面を使っています。

テレビは正しく使用すれば事故がおきないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、内部に約3万ボルトの高い電圧を使用しているので、まちがった使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。

## 定期的に点検する

- お買い上げ時とそのあと1年に1度は「安全点検リスト」に従って点検してください。
- 5年に1度は内部の点検をお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください(有料)。

## 故障したら使わない

すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

- ・煙が出たり、焦げくさいにおいがしたら
- ・テレビを見ているときや、スタンバイ状態(画面が消えていて、本体スタンバイランプが赤く点灯中)のときに、テレビ内部から異常な音がしたら
- ・内部に水などが入ったら
- ・内部に異物が入ったら
- ・音は出るが画面が映らないときは
- ・テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは



- 1 電源を切る
- 2 電源プラグをコンセントから抜く
- 3 お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

## 注意を促す記号



## 行為を禁止する記号



禁止  
風呂・シャワー室  
での使用禁止

分解禁止  
接触禁止



ぬれ手禁止

## 行為を指示する記号



スラグをコンセントから抜く



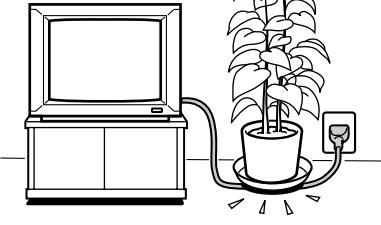
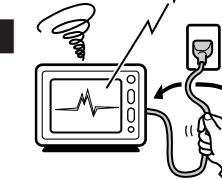
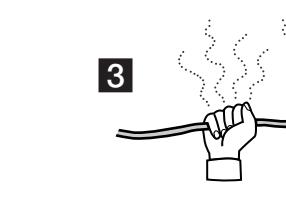
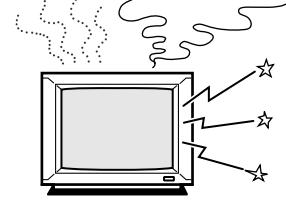
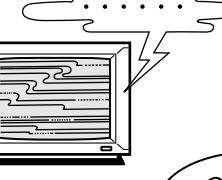
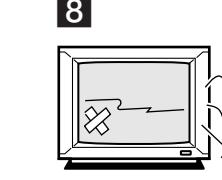
指示

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	● <a href="http://www.sony.co.jp/SonyDrive/">http://www.sony.co.jp/SonyDrive/</a> ● ナビダイヤル 0570-00-3311 (全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます) ● 携帯電話・PHS 03-5448-3311 (ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください) ● FAX 0466-31-2595 受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
---	--



# 安全点検のおすすめ

## <カラーテレビ>安全点検チェックリスト

安全点検項目	点検結果 年/月 ○良い ×悪い	処置手順	
設置場所と設置方法			
<b>①</b>  <b>②</b>  <b>③</b>  <b>④</b>  <b>⑤</b> 	<b>1</b> 布やテーブルクロスなどで通風孔をふさいでいませんか <b>2</b> 水気、油気、湿気の多いところに置いていませんか <b>3</b> 不安定な場所に置いたり、不安定な置きかたをしていませんか <b>4</b> 水のこぼれやすい花瓶や植木鉢などがテレビの上に載っていませんか <b>5</b> 転倒防止用具は正しく使われていますか（25型以上）		
		×印の項目があるとき そのままお使いになりますと故障や事故の原因になることがあります。	
電源コードとプラグ			
<b>⑥</b>  <b>1</b>  <b>3</b> 	<b>6</b> 電源コードが物（椅子、机、台など）の下敷きになっていますか <b>7</b> たこ足配線をしていませんか		正しく安全な設置場所や設置方法に必ず改善してください。
		一つでも×印があるとき	
		すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。	
カラーテレビ本体			
<b>4</b>  <b>5</b>  <b>6</b>  <b>8</b> 	<b>4</b> 異常な熱や煙が発生したり変な臭いや音（パチパチ）がしませんか <b>5</b> 電源を入れても画像や音が出ないことがありませんか <b>6</b> 画像や音が途切れたり、乱れたりしませんか <b>7</b> 通風孔から水や異物（紙・虫・クリップ・ピンなど）が入った形跡がありませんか <b>8</b> 故障状態のまま使用していませんか		お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

## !**警告**



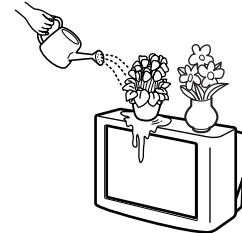
下記の注意を守らないと  
**火災・感電**により死亡や  
大けがの原因となります。

### テレビの上に水が入ったものを置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。



禁止

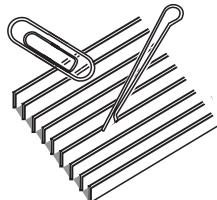


### 通風孔に異物を入れない

内部に金属類や燃えやすいものなど異物が入ると火災や感電の原因となります。



禁止



### 内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



### 電源コードを傷つけない

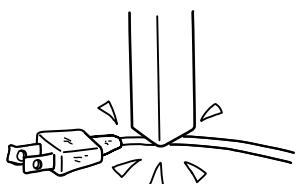
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・電源コードに重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードを熱器具に近づけない。加熱しない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

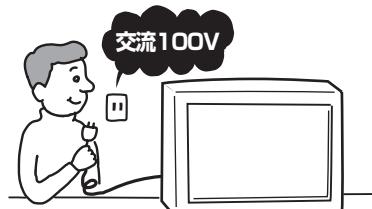


禁止



### 本機は国内専用です

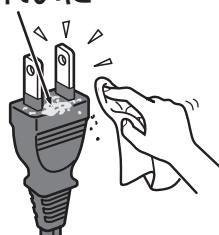
交流100Vの電源電圧でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



### 電源プラグは定期的に手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

きれいに

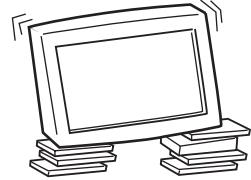




下記の注意を守らないと  
**火災・感電**により死亡や  
大けがの原因となります。

### 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、テレビが落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。  
テレビスタンド、ラックなどは、ソニー指定のもの(別売り)など十分に強度があるものをお使いください。



### 水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。



風呂・シャワー室  
での使用禁止

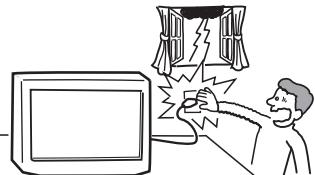


### 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触 れない

感電の原因となります。



接触禁止



### 運転中や歩行中はテレビを見ない

自動車などの運転中や歩行中にテレビを見ると、交通事故、転倒などの原因となります。



禁止





下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

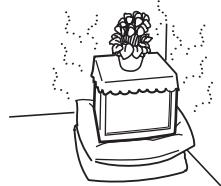
## 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から10cm以上離して置いてください。

- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- ・棚や押入の中に置かない。
- ・じゅうたんや布団の上に置かない。
- ・布をかけない。



禁止



## ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

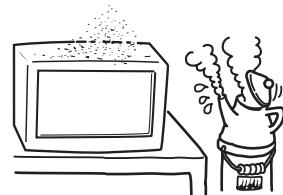


## 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。



禁止



## テレビやテレビ台の上に乗らない、テレビの上に重いものを置かない

倒れたり、落ちたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



禁止



## 転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、テレビが倒れてけがの原因となることがあります。大型テレビは、スタンドや床、壁などとの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。



禁止





下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

## 光デジタル音声出力端子のカバーは、幼児の手の届かないところに保管する

光デジタル音声出力端子のあるテレビには、カバーがついています。

万一、誤って飲みこんだときは、窒息する恐れがありますので、ただちに医師にご相談ください。



指示

## お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



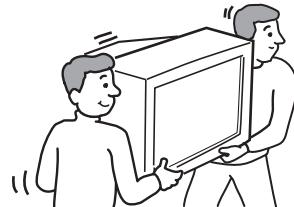
プラグをコンセントから抜く

## 移動させるときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。

運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。特に、プラウン管には気をつけてください。



## 長期間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜く

# 使用上のご注意

## 磁気に対するご注意

- 磁石、電気時計、スピーカー、磁石を使用した機器やおもちゃ、磁気応用健康器具など、磁気をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて色が乱れたり、画面が揺れたりすることがあります。
- テレビに外部スピーカーを接続する場合は、画面が影響を受けるおそれがありますので、防磁スピーカーをご使用ください。

## 見る場所について

- 画面の縦の長さの5~7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすくて疲れません。ただし、クリアビジョン、ハイビジョン放送の場合は、画面の縦の長さの3倍程度の場所でご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせてよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

## テレビを載せる場所について

テレビの底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。また、テレビスタンド、ラックなどに載せるときは、テレビとの間にものを挟まないようにしてください。特にテレビの幅よりも極端に狭い幅のものを挟んだりしないようご注意ください。ものを挟むと、テレビに負荷がかかりテレビ本体が破損することがあります。

## 音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣り近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

## リモコン取り扱い上のご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

## ブラウン管について

- ブラウン管の表面に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはブラウン管表面に静電気を帯びているため、人体に影響はありません。また、静電気によりほこりが付きやすくなることがあります。
- ブラウン管の表面は傷つきやすいので、硬いものでたたいたり、ものをぶつけないでください。また、ボールペンやドライバーなどの先の尖ったもので触れたり、擦ったりしないでください。

## ブラウン管表面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ブラウン管表面が汚れているときは、中性洗剤を水で薄め、メガネ拭きなどの柔らかい布に含ませ固く絞ってから、拭き取ってください。また、洗剤が残っているとしみなどの原因になることがありますので、最後に水を布に含ませ、固く絞って拭き取ってください。から拭きはおやめください。
- 塩素系や酸性、アルコール入り、研磨剤入りの洗剤も使わないでください。
- スプレー式の洗剤を直接ブラウン管に吹き付けないでください。テレビの内部に洗剤液が入り故障の原因になったり、噴射剤に可燃性のガス成分が使われているときは、静電気による火花で稀に発火の原因になることがあります。
- 化学ぞうきんの使用は避けてください。

## テレビ本体のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうがあるので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使うときは、色落ちや変色する場合がありますのでご注意ください。

## 乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

### △警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

### △注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとてから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。